

# ビッグデータを活用した交通安全対策を実施！

## 1 目的

埼玉県を検証結果から「ビッグデータを活用した交通安全対策」が有効であると考え、本田技研工業(株)が公開する「SAFETY MAP」から急ブレーキ多発箇所を抽出し、注意喚起看板や路面標示の設置等の交通安全対策の実施により交通事故の未然防止を図ります。

## 2 実施内容

### ①急ブレーキ多発箇所への安全対策の実施

⇒交差点の手前、見通しの悪いカーブ、比較的広い直線道路等の31箇所に、注意喚起看板や路面標示を設置します。

### ②市民との積極的な情報共有

⇒交通安全対策を実施した危険箇所について、自治会や学校、保育所等へ情報提供を行います。

### ③地域住民や警察、道路管理者等との連携

⇒市HPや広報紙へ掲載し、市民の交通安全意識の向上を図るほか、特に危険な箇所については、鴻巣警察署や道路課、北本県土整備事務所等と連携した交通安全対策の検討を行います。

公開されている SAFETY MAP (ホンダ HP)



データを活用して看板設置



**危険ポイント！**

交差点があり、子どもの横断が多い

## 3 今後の事業展開

今年度は、新たに「事故発生リスクAIアセスメント」を導入し、地理情報システム「こうのとりっぴ」へ掲載するなど、市民や通行者と交通事故発生リスクデータを共有しながら、交通事故の未然防止を図ります。



ひなちゃん

鴻巣市



記者会見資料

資料5

花かおり

緑あふれ

人輝くまち

こうのす

---